

こんにちは

会社訪問記

砂の持つ可能性を最大限に活かして、
人と未来にコミュニケーションします。

株式会社瓢屋

(名古屋市熱田区)

戦前より鑄物砂の採掘・販売を行ってきた株式会社瓢屋。名古屋市熱田区にある本社にお伺いし、事業内容などを山下総務部長、松本経理次長、水野課長のお三方にお話をいただきました。

— 最初に、事業内容を教えていただけませんか。

山下総務部長（以下山下に略）『鑄物砂・窯業原料の採掘及び製造販売、鑄物用副資材の販売、シェルモールドコーテッドサンドの製造販売、鑄物製品の製造販売、サンドブラスト材料・建築材用珪砂の販売、プラント設計施工、鑄物材料の産業廃棄物の再生処理、収集・運搬、最終処分。そして以上の事業に付関連する一切の事業を行っています。』



山下総務部長

— 創業されたのは何年ですか。

山下『昭和5年です。この事業には、けっこう古くから携わっています。』

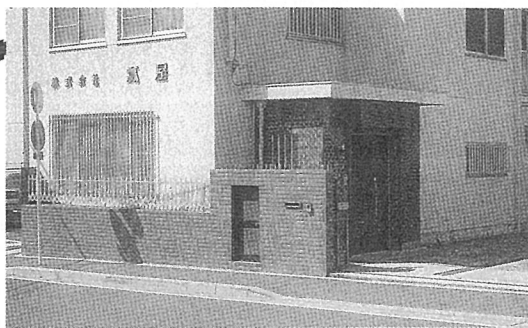
— 新しい事業展開をお考えになっていますか。

山下『はい、鑄物砂の再生処理工場を建設する計画があります。ただし、建設費用がかなりかかるということ、再生砂の単価が低いことがネックになっており、現在検討している次第です。』

— ところで、従業員は何名いらっしゃいますか。
水野課長（以下水野に略）『170名程です。産廃処理業務にかかわっているのは10名程ですね。』

— 産業廃棄物処理はいつ頃から取り組まれていらっしゃいますか。

松本経理次長（以下松本に略）『廃棄物処理法が施行されてから間もなくの、昭和48年です。』



社名/株式会社瓢屋 所在地/名古屋市熱田区神宮3丁目10番10号
代表者/堀江洋二 創業/昭和5年
従業員/170名 TEL/052(681)6821
モットー/「和」
事業所/本社、支社、8営業所、3事業所、3工場、研究開発センター
営業種別/収集運搬、埋立処分 取扱物品/汚泥、鉱さい

収集運搬、埋立処分の許可をいただき、現在、知多の野間方面に採掘場と処分場を所有しています。』

— リサイクルについてはどのようにお考えですか。
山下『当社では、再生砂の有効利用に積極的に取り組んでいます。排出事業者さんから出された砂のうち、使えるものはリサイクルしています。』

水野『創業当時は採掘した山砂を販売していましたが、徐々に化学合成砂に切り替え、現在は合成する際に再生砂を半分程混ぜる化学合成でまかっています。』

— では、最後に今後の展望をお聞かせください。
松本『砂も再生利用が進み、採掘量は一時期より需要が減っています。そういった状況を踏まえた上で、時代の流れにマッチした天然資源供給ができる企業をめざしていきたいと思えます。』

山下『砂の廃棄処理も、他の産業廃棄物と同様にコスト面などにおいて難しい局面に立たされていますが、さまざまな問題を努めて解消しながら、責任ある産業廃棄物処理を心がけていきたいと思えます。』

砂の品質改良においても努力を重ねていらっしゃるとのこと。埋立処分は自社の取扱う分だけに限定していますが、きちんと責任を持って業務に臨んでいますと明るく語る山下総務部長。今後もリサイクルに、事業に頑張ってもらって取り組んでください。



社内